３年学年だより

２０２０，８，１８
石川県立小松明峰高等学校
第３学年発行　No．６

2 学期スタート！

～目標目指し、さらに飛躍を～

Keep smiling,keep shining!
笑顔を絶やさず、輝き続ける生徒の活動を毎日更新中
小松明峰高校

２学期も始まりました。８月 28 日に明峰祭を控えていますが、最上級生として「誇りのもてる」明峰祭を創造していけるように一人ひとりが協力して取り組んでいきましょう。そして、もうすぐ９月に入りますが、いよいよ９月４日には共通テストの出願説明会が行われます。受験生としての第一歩です。９月から 11 月は入試の実力養成期間となります。夏までの取り組みの成果をチエックし、さらに学習の継続をしていきましょう。

先生からのメッセージ

「受験を通して得られるもの」　　（35H担任　山越康裕先生）

「諦めるな。一度諦めたら、諦め癖(ぐせ)がつく。解ける問題まで解けなくなるぞ。」

今からちょうど１年前の同じ時期に、この春本校を卒業した生徒たちに送った言葉です。これは私が読んだ本の中で心に残っている一節で、辛いなと思った時に思い出すようにしている言葉でもあります。人には「自分で気づかない様々な癖」があります。その中で最も性質が悪いのが「諦め癖」だと思います。これまでの宿題やテストで空欄のまま提出したものはいくつありますか。たかが数個の空欄かもしれません。しかし、その一つひとつが積み重なることで勉強に対する「諦め癖」を生み出してはいませんか。そして、そうなっている場合には、その状態に陥った自分に気づくことができるのでしょうか。自分自身を客観視する力が身についているかも含めて、受験生としての自分の行動を今一度振り返ってみてください。そして、もし少しでも罪悪感を覚える自分がいるのであれば、その瞬間こそが自分を成長させるチャンスになります。逆に「気づいた時にはもう受験」となってしまえば、必ず後悔が生まれ、その後悔は何か困難に直面するたびに「あの時～していれば」という、意味のない「たられば」という形で自分に返ってきます。

ここである明峰生(卒業生)の話をします。その生徒は高校入学時から「この３年間自分は勉強を頑張る」と決め、毎日何時間も勉強し、わからないことがあればすぐに教師に質問するといった努力を重ねた結果、志望校に合格することができました。模試で点数が悪かった時も「自分ならできる」とよく言っており、復習を欠かすことがありませんでした。そして、その生徒の周りには、その姿に刺激を受けた何人もの生徒がいました。その生徒たちは部活動引退後には土日関係なく、毎日のように学校で黙々と勉強し、わからないところがあれば時間を問わず質問に来るといったことを国公立二次試験の前日まで続けていました。皆さんの中には、全然成績が伸びず、勉強すればするほど自分には才能がないのではないかと辛くなる人もいるかもしれません。ただ、それでも勉強をし続ける生徒は「努力する才能」というものをすでに持っているのではないでしょうか。そして、そういう姿は必ず誰かが見ています。見られていないと思ったら、あえて応援されたい人のところに行ってその頑張りを見せつけてもいいのではないでしょうか。誰かに認めてもらいたいならば「見えない努力」と同様「見える努力」も重要だと思います。成績が伸びて志望校に合格できたという結果はもちろん大切ですが、この受験を通して何か自分なりに得られるものがあることを期待しています。

日	曜	日程	９月
1	火	B	後期生徒会役員選挙公示　進路志望調査 3年特別時間割(午後)
2	水	B	↓
3	木	B	
4	金	B	３年共通テスト出願説明会
5	土		全統記述模試（３年） ３年保護者進学説明会
6	日		
7	月	B	面接週間③(～11日)
8	火	B	
9	水	B	
10	木	B	
11	金	B	後期ホーム役員選出(LH)
12	土		進駿マーク模試(3年)
13	日		
14	月	B	
15	火	B	
16	水	B	
17	木	B	
18	金	B	
19	土		
20	日		
21	月		敬老の日
22	火		秋分の日
23	水	B	自転車乗車マナー一斉指導
24	木	B	
25	金	B	後期生徒会役員選挙(LH)
26	土		補習（１年③２年③３年②）
27	日		
28	月	B	
29	火	B	
30	水	B	内科検診13:00-